

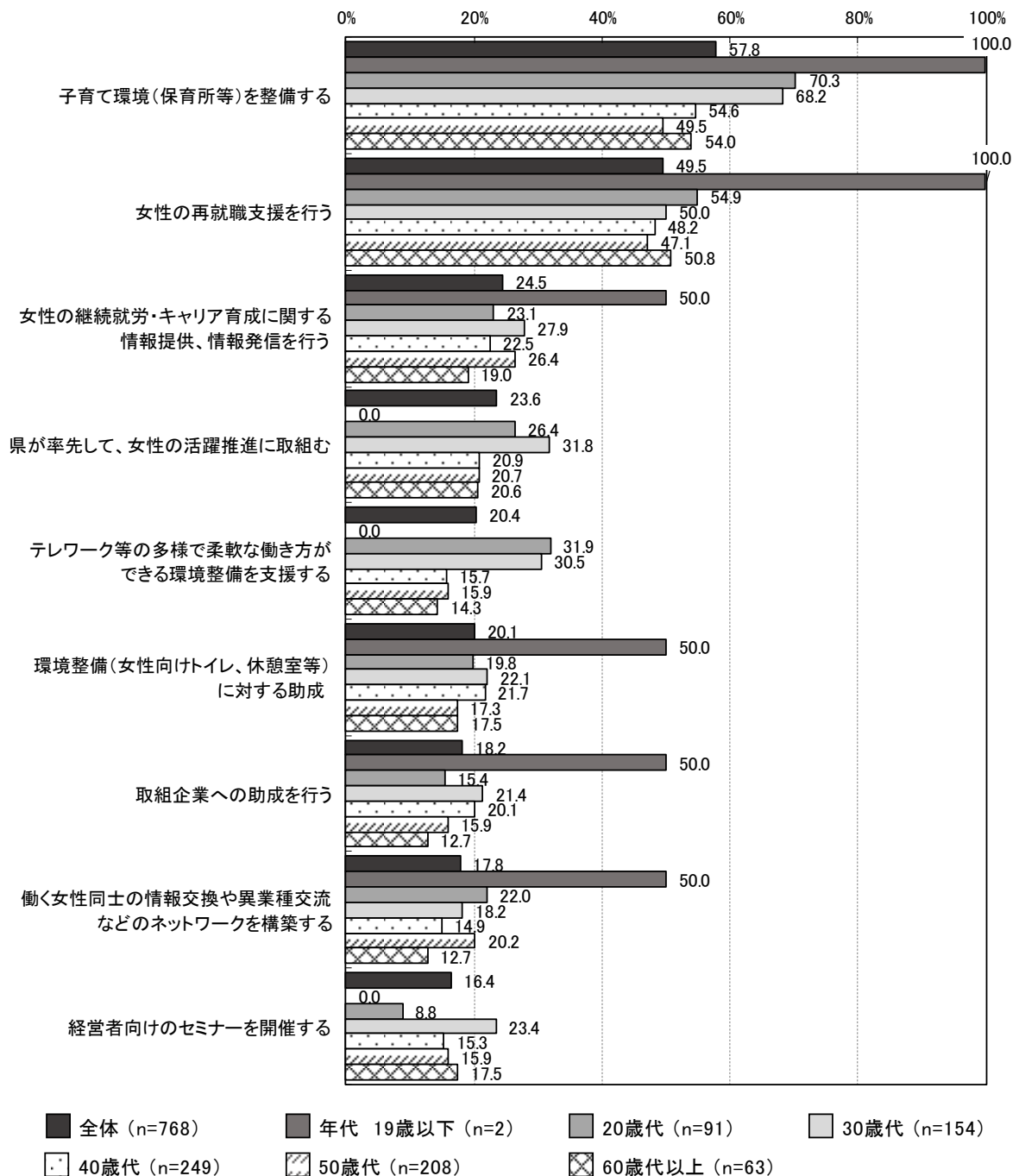
第十四章 県への要望について

1. 女性の活躍を推進するために期待する県からの支援【問13】

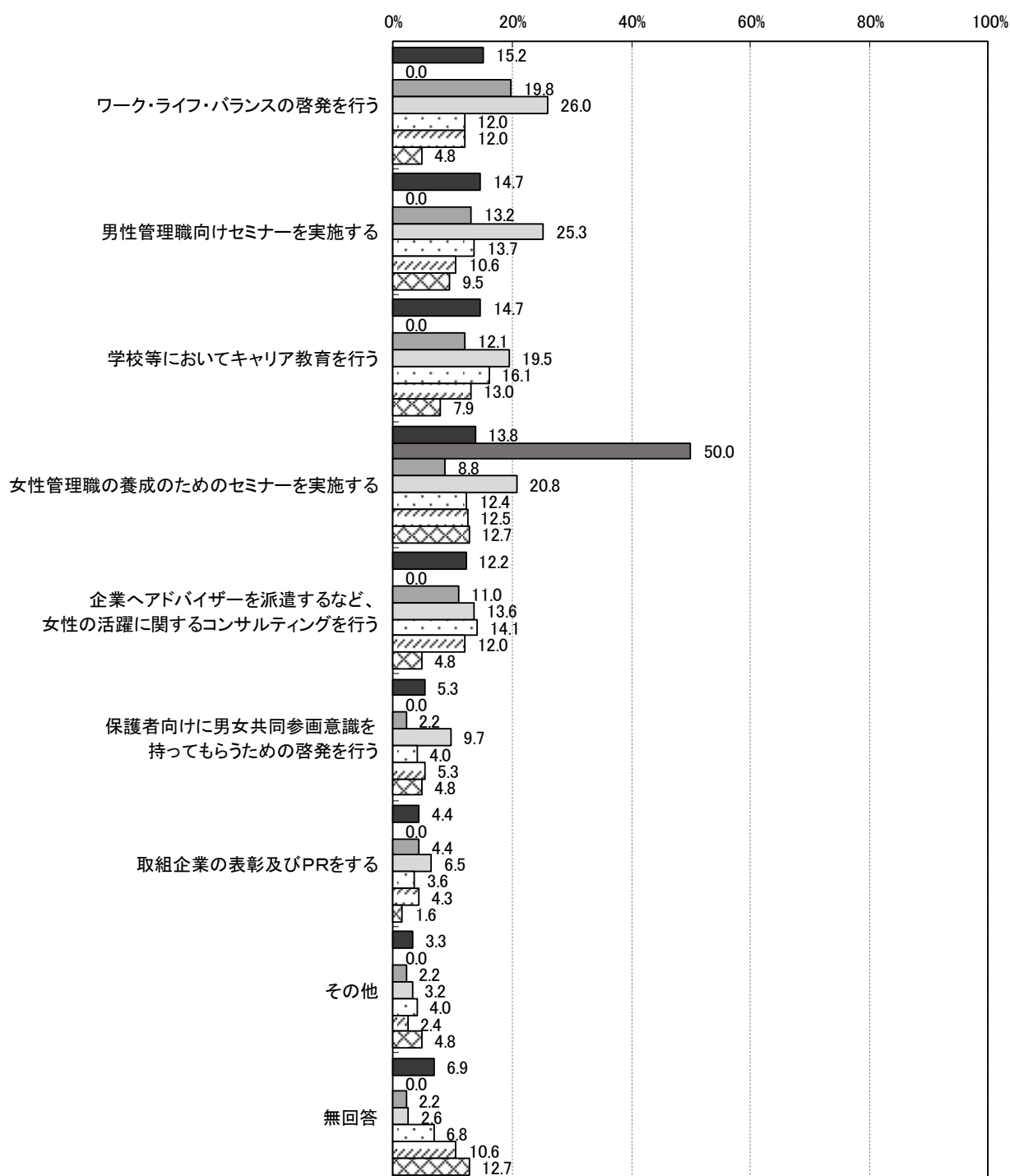
全体では、「子育て環境（保育所等）を整備する」が57.8%と最も高く、次いで「女性の再就職支援を行う」が49.5%、「女性の継続就労・キャリア育成に関する情報提供、情報発信を行う」が24.5%の順となっている。

年代別で見ると、いずれの年代も「子育て環境（保育所等）を整備する」が最も高く、そのうち20歳代が70.3%と、最も低い50歳代に比べて20.8ポイント高くなっている。20歳代は「女性の再就職支援を行う」においても割合が54.9%と最も高くなっている。

〔図表 14-1-1①〕 女性の活躍を推進するために期待する県からの支援（全体・年代別） <<MA>>



[図表 14-1-1②] 女性の活躍を推進するために期待する県からの支援（全体・年代別）〈MA〉

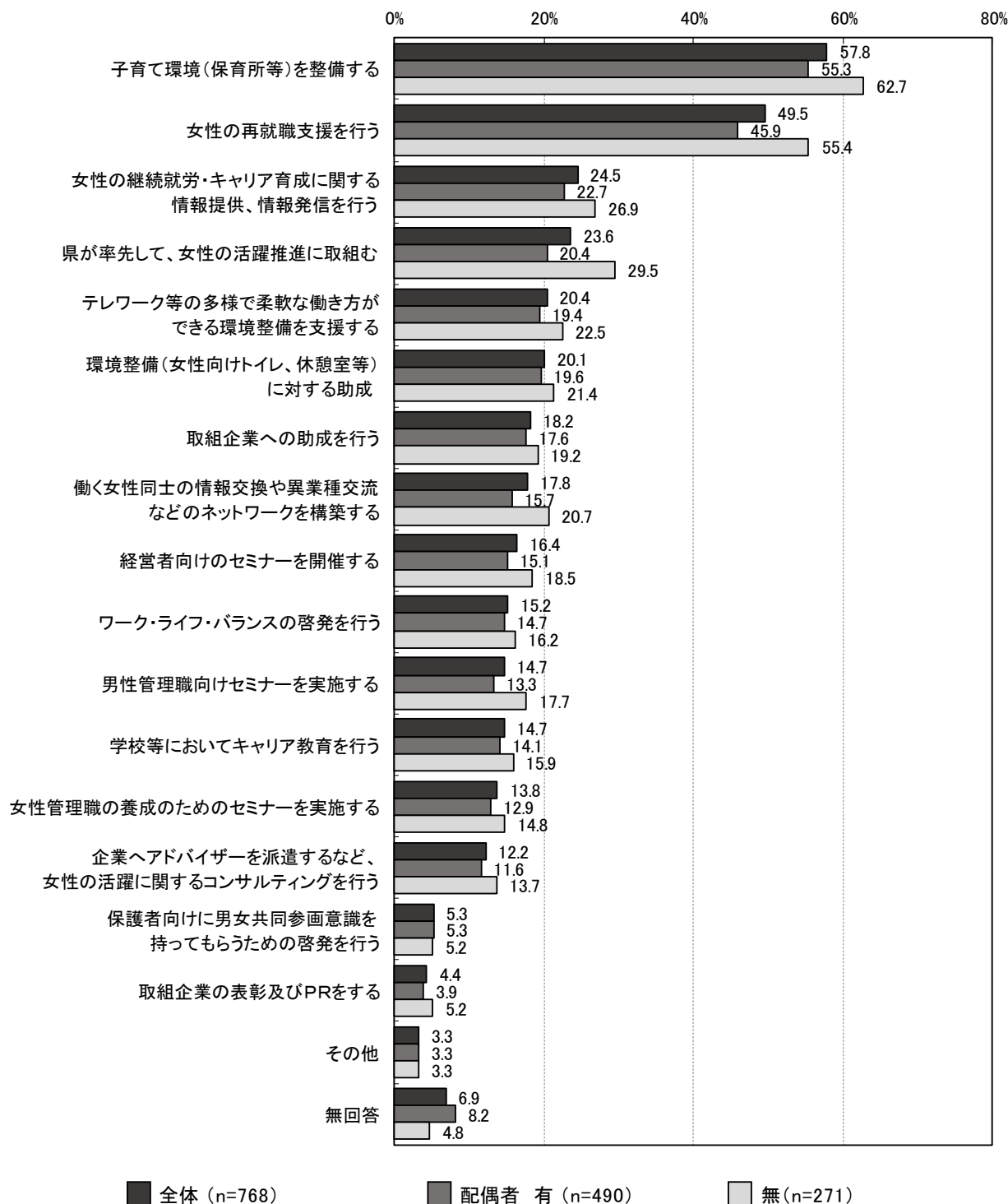


全体 (n=768)
 年代 19歳以下 (n=2)
 20歳代 (n=91)
 30歳代 (n=154)

40歳代 (n=249)
 50歳代 (n=208)
 60歳代以上 (n=63)

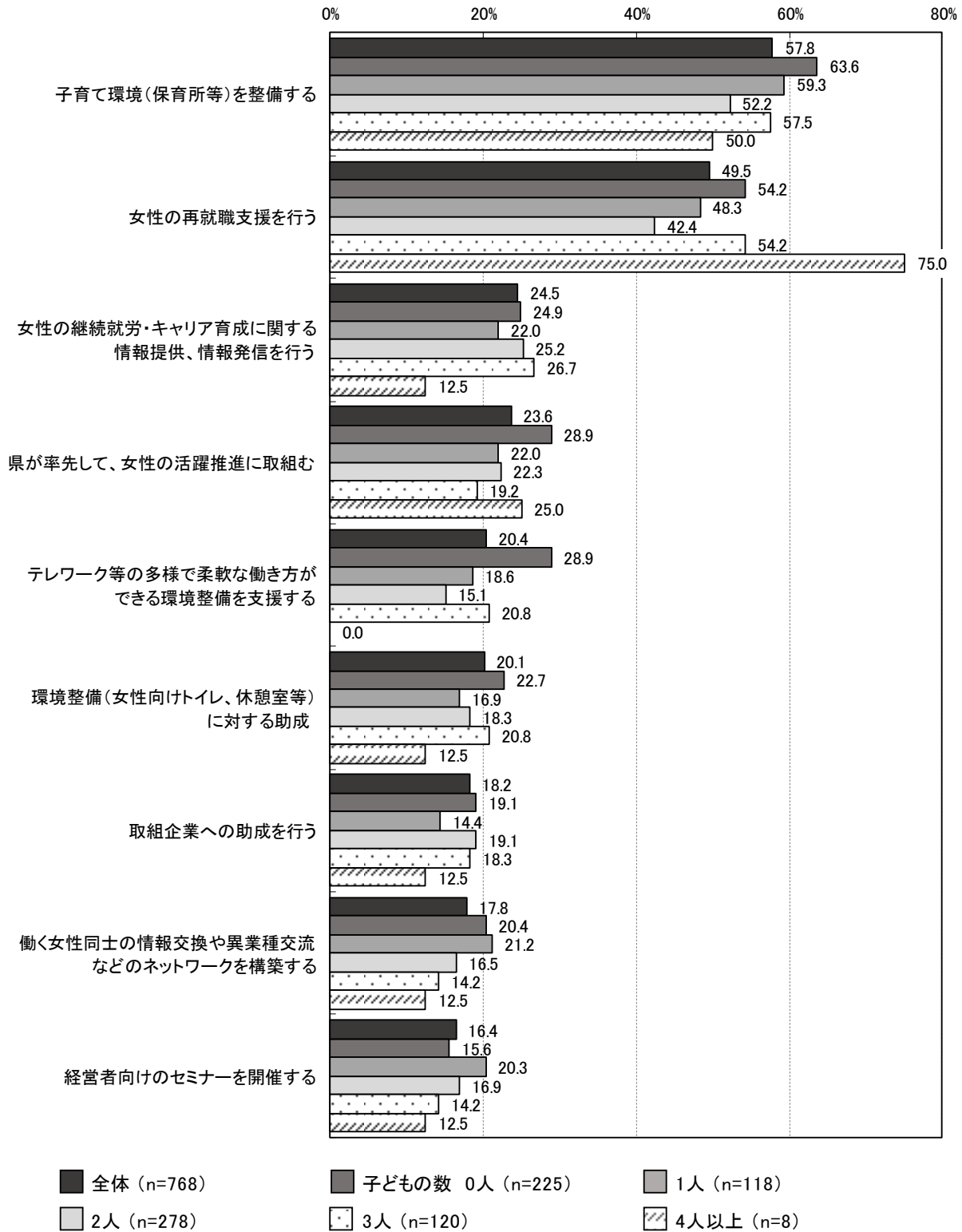
配偶者の有無別で見ると、配偶者有、無ともに「子育て環境（保育所等）を整備する」の割合が最も高く、配偶者有が55.3%、配偶者無が62.7%と配偶者無が配偶者有より7.4ポイント高くなっている。「女性の再就職支援を行う」においても配偶者無が配偶者有より9.5ポイント高くなっている。

[図表 14-1-2] 女性の活躍を推進するために期待する県からの支援（配偶者の有無別）《MA》

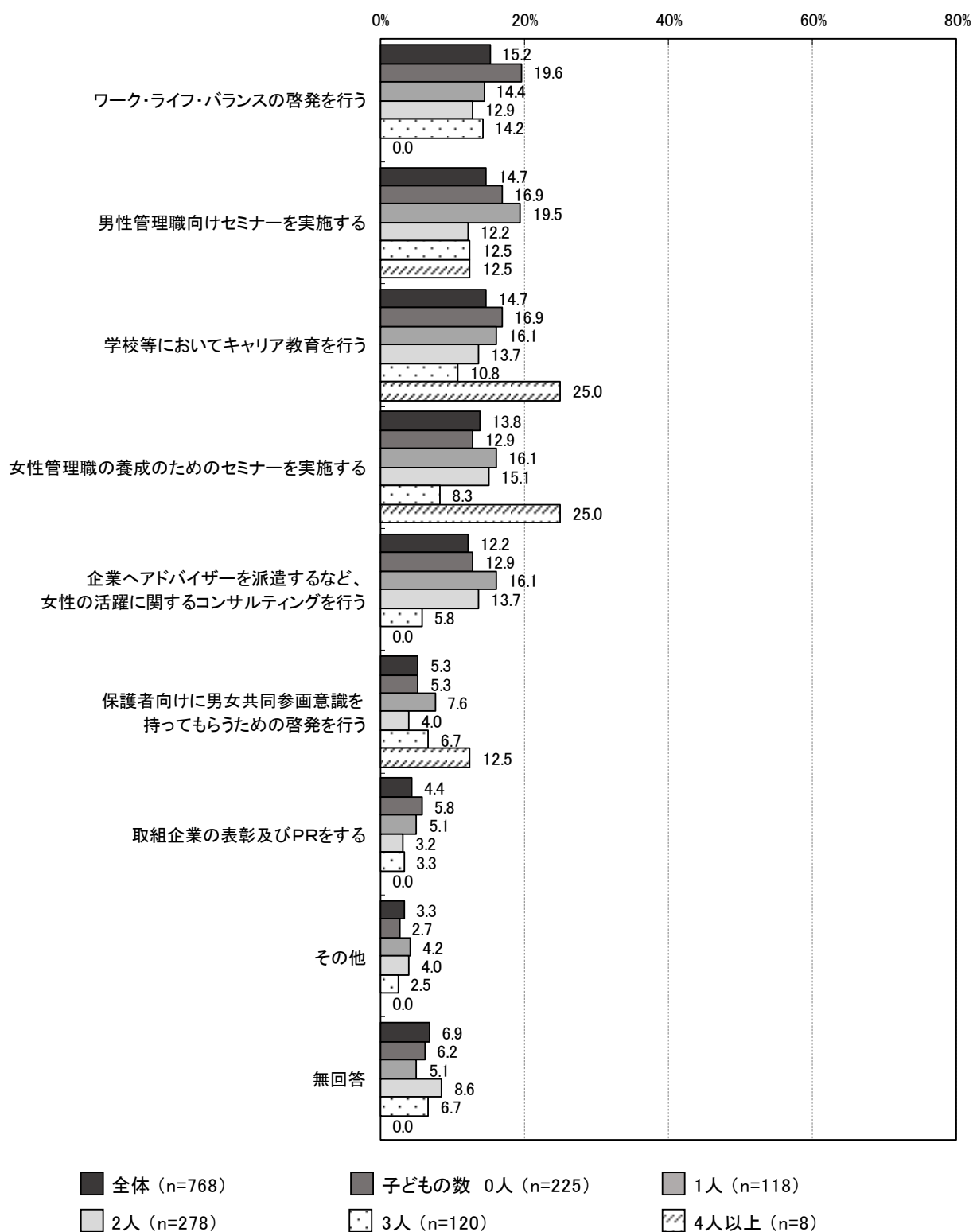


子どもの数別でみると、いずれの子ども数も「子育て環境（保育所等）を整備する」の割合が高く、そのうち0人が63.6%と最も高くなっている。

[図表 14-1-3①] 女性の活躍を推進するために期待する県からの支援（子どもの数別）《MA》

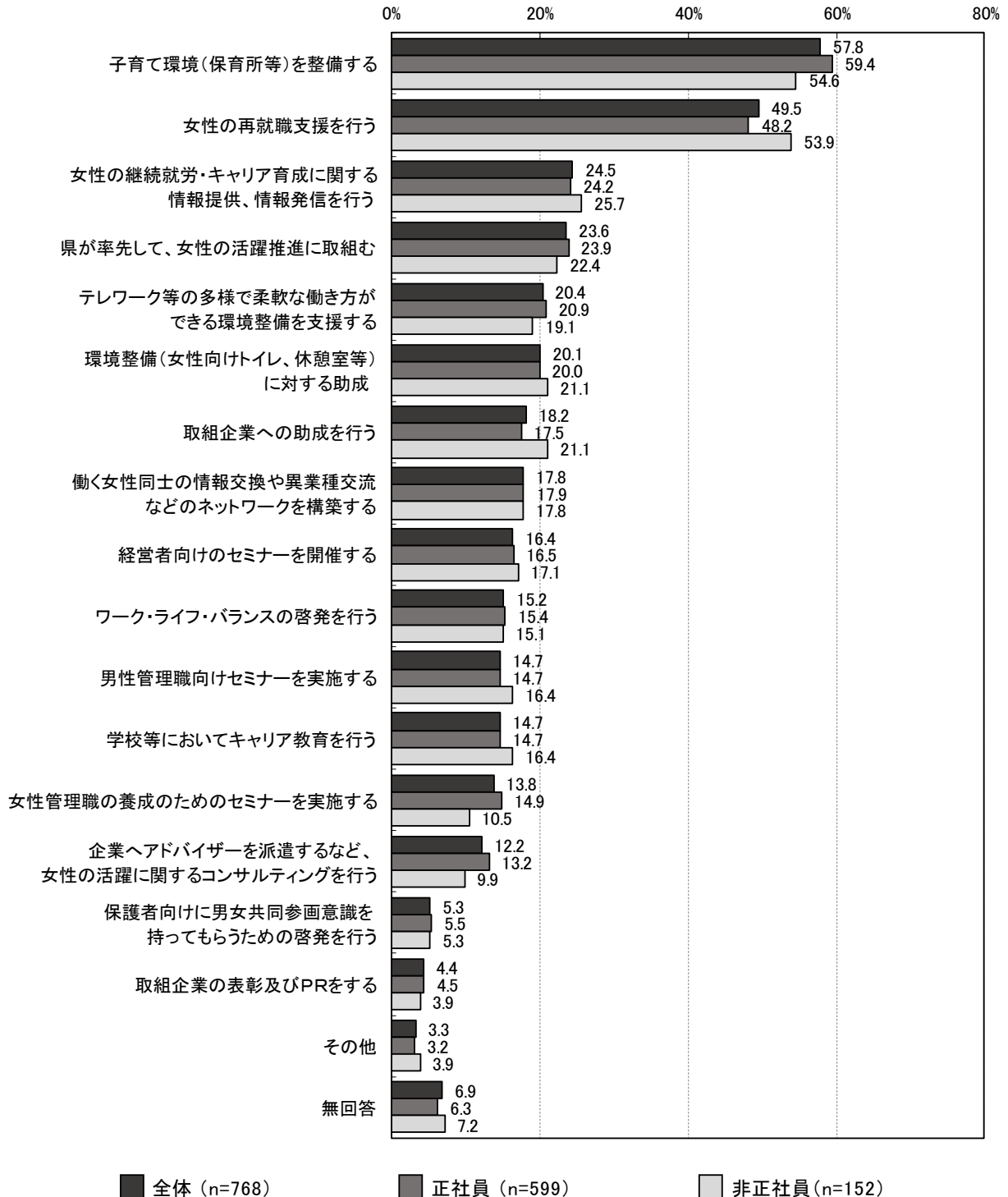


[図表 14-1-3②] 女性の活躍を推進するために期待する県からの支援（子どもの数別）〈MA〉



雇用形態別でみると、正社員、非正社員ともに「子育て環境（保育所等）を整備する」の割合が最も高く、正社員が59.4%、非正社員が54.6%と正社員が非正社員より4.8ポイント高くなっている。「女性の再就職支援を行う」では非正社員が正社員より5.7ポイント高くなっている。

[図表 14-1-4] 女性の活躍を推進するために期待する県からの支援（雇用形態別）《MA》



前回の調査と比較すると、今回の調査は前回の調査より「女性の継続就労・キャリア育成に関する情報提供、情報発信を行う」の割合が7.5ポイント、「女性の再就職支援を行う」の割合が7.2ポイント増加している。

[図表 14-1-5] 女性の活躍を推進するために期待する県からの支援（前回調査との比較）《MA》

